

授業科目	高齢者臨床心理演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31405J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP2-2 DP3-2 DP5-2			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>日本は超高齢社会となり、高齢者への支援は社会的にも大きく取り上げられるようになってきた。高齢期は身体的にも、社会的にも、心理的にも新たな課題に直面する時期である。高齢期に発症しやすいとされる精神疾患に認知症がある。高齢者の QOL を支えていくためには、心理面の理解と支えを欠かすことはできない。高齢者臨床心理演習では、高齢者領域におけるアセスメントと臨床心理学的アプローチについて、ロールプレイやグループ討議を通して学習を深める。</p> <p>高齢者施設における施設入所高齢者、認知症高齢者への心理臨床業務に携わった実務家教員として、実務に必要な基礎的知識および技法を解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 高齢者、認知症高齢者についての基本的知識を有し、それを基礎として高齢者、認知症高齢者を対象とする心理アセスメント、心理療法の基本的な実施方法を身につけている。(DP5-2)</p> <p>2. 被検査者、被援助者に配慮した心理アセスメント、心理療法の計画、実施、報告のあり方を検討することができる。(DP3-2)</p> <p>3. 高齢者、認知症高齢者への心理アセスメント、心理療法を臨床場面で用いる際の意義と課題を考え、福祉専門職の視点からの利用のあり方を検討することができる。(DP2-2)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	40	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)			30				30	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)					30		30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				40			40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>高齢者、認知症高齢者についての基本的知識を有し、それを基礎として高齢者、認知症高齢者を対象とする心理アセスメント、心理療法のより円滑な実施方法を身につけている。</p> <p>高齢者、認知症高齢者、またその家族、関係する専門職に配慮した心理アセスメント、心理療法の計画、実施、報告のあり方を検討することができる。</p> <p>高齢者、認知症高齢者への心理アセスメント、心理療法を臨床場面で用いる際の意義と課題を考え、福祉専門職の視点からの円滑な利用のあり方を検討することができる。</p>				<p>高齢者、認知症高齢者についての基本的知識を有し、それを基礎として高齢者、認知症高齢者を対象とする心理アセスメント、心理療法の基本的な実施方法を身につけている。</p> <p>被検査者、被援助者に配慮した心理アセスメント、心理療法の計画、実施、報告のあり方を検討することができる。</p> <p>高齢者、認知症高齢者への心理アセスメント、心理療法を臨床場面で用いる際の意義と課題を考え、福祉専門職の視点からの利用のあり方を検討することができる。</p>				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 高齢期の発達の特徴について解説する。	講義	復習:授業の振り返り 予習:認知症の診断基準について調べる。	30
2	認知症の理解 認知症の定義、特徴、スクリーニング検査(HDS-R,MMSE)、観察評価尺度について解説する。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:認知症者の心理について調べる。	30
3	認知症高齢者の心理 認知機能の低下に伴って発生する心理・社会的問題について解説する。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:高齢者の心理療法を調べる。	30
4	高齢者に適用される心理療法 リアリティ・オリエンテーション、回想法、心理劇、動作法について解説する。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:傾聴について調べる。	30
5	高齢者の心理臨床① 基本的な支援態度(傾聴)についてロールプレイを用いて理解を促し、高齢者臨床における適切なコミュニケーションについてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:個人療法と集団療法の違いを調べる。	30
6	高齢者の心理臨床② 個別心理療法と集団心理療法について、ロールプレイを用いて理解を促し、高齢者臨床における適切なコミュニケーションについてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いについて調べる。	30
7	高齢者の心理臨床③ 言語中心の心理療法と非言語中心の心理療法についてロールプレイを用いて理解を促し、高齢者臨床における適切なコミュニケーションについてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:認知症の重症度による特徴の違いについて調べる。	30
8	高齢者の心理臨床④ 認知症の重症度とかかわりの工夫についてロールプレイを用いて理解を促し、高齢者臨床における適切なコミュニケーションについてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:語る際の他者の存在の有無の影響について調べる。	30
9	高齢者の心理療法① 回想法の実際についてロールプレイを用いて理解を促し、介入前後の心理アセスメントの手続きを解説する。その後、回想法グループの運営計画についてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:回想法の事前アセスメントの実施、運営計画書の作成、事前スタッフミーティングの実施。	60
10	高齢者の心理療法② 援助者と被援助者に分かれ、援助者は集団心理療法(回想法)を計画・運営し、一連の援助手続きを実行する。援助場面における成果と課題についてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:回想法の事前アセスメントの実施、運営計画書の作成、事前スタッフミーティングの実施。	60
11	高齢者の心理療法③ 援助者と被援助者を入れ替え、前回の授業の反省を踏まえ、援助者は集団心理療法(回想法)を計画・運営し、一連の援助手続きを実行する。援助場面における成果と課題についてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:回想法と心理劇の違いについて調べる。	30
12	高齢者の心理療法④ 心理劇の実際についてロールプレイを用いて理解を促し、介入前後の心理アセスメントの手続きを解説する。その後、心理劇グループの運営計画についてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:心理劇の事前アセスメントの実施、運営計画書の作成、事前スタッフミーティングの実施。	60

13	高齢者の心理療法⑤ 援助者と被援助者に分かれ、援助者は集団心理療法(心理劇)を計画・運営し、一連の援助手続きを実行する。援助場面における成果と課題についてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り 予習:心理劇の事前アセスメントの実施、運営計画書の作成、事前スタッフミーティングの実施。	60
14	高齢者の心理療法⑥ 援助者と被援助者を入れ替え、前回の授業の反省を踏まえ、援助者は集団心理療法(心理劇)を計画・運営し、一連の援助手続きを実行する。援助場面における成果と課題についてグループ討議を行う。	講義 グループワーク	復習:授業の振り返り	60
15	まとめ これまでの演習での体験を踏まえ、高齢者を対象とする心理アセスメント、心理療法を臨床場面で用いる際の意義と課題を考え、福祉専門職の視点からの利用のあり方をグループ討議する。	グループ討議	復習:レポートを書く	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	生涯発達における高齢期の位置づけ及び高齢者の心理についての基礎知識を身に付けることのできる「発達心理学Ⅱ」、心理学的支援に関する基礎理論を学ぶことのできる「臨床心理学概論」や、心理アセスメントの基礎を学ぶことのできる「発達アセスメント演習」の単位を習得していると、本演習の内容がより理解しやすいでしょう。 上記科目を未履修であっても受講できますが、可能であれば先に履修されることを勧めます。			
テキスト	とくになし。必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	黒川由紀子・斉藤正彦・松田修著『老年臨床心理学』有斐閣、2005 黒川由紀子著『回想法』誠信書房、2005 回想法・ライフレビュー研究会編『回想法ハンドブック』中央法規、2001 中島健一編『高齢者のこころのケア』小林出版、1999 Naomi Feil 著、藤沢嘉勝監訳『バリデーション』筒井書房、2001			

	<p>中島健一著・成瀬悟策監修『痴呆性高齢者の動作法』中央法規、2001 中島健一編『認知症高齢者の心理劇「感ドラマ」動作理論に基づく支援』ミネルヴァ書房、2015</p>
<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>ボランティアや実習での出会いや学びを整理しておくことが重要です。本授業では、ロールプレイやグループ討議を中心に授業を進めていくため、積極的な授業参加姿勢を期待します。</p>
<p>達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>「発表」はグループワーク、ロールプレイ、シェアリング(ふりかえり)等の授業中の行動によって評価する。「レポート」は行動目標の達成を問う課題を出す。「レポート以外」は、予習や復習に伴う小課題によって評価する。 成績発表後に、評価点分布図を提示する。</p>